

第 33 回 緊急時対策指針検討会 議事録

1. 開催日時 平成 26 年 10 月 22 日 (水) 9:30~12:00
2. 開催場所 日本電気協会 4 階 A 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
 - 出席委員: 岩崎主査(関西電力), 井上副主査(東京電力), 山本(日本原子力研究開発機構), 伊藤委員 (中部電力) (計 4 名)
 - 代理委員: 小野寺(北海道電力・武蔵代理), 小倉(日本原子力発電・沼田代理), 荒芝(中国電力・岩本代理), 打越(四国電力・大野代理), 深堀(東北電力・鈴木代理), 高岸 (九州電力・河津代理) (計 6 名)
 - 常時参加者: 宮木 (原子力規制庁), 高井 (原子力安全推進協会) (計 2 名)
 - オブザーバ: (計 0 名)
 - 事務局: 芝 (日本電気協会) (計 1 名)

4. 配付資料

- 資料 33-1 第 32 回緊急時対策指針検討会議事録(案)
 - 資料 33-2 JEAG4102-201X 「原子力発電所の緊急時対策指針」改定案
 - 資料 33-3 原子力発電所 緊急時活動レベル (EAL) の設定方法 (案)
(JEAG4102-201X 「原子力発電所の緊急時対策指針」 附属資料)
 - 資料 33-4 JEAG4102-201X 原子力規格委員会等コメント対応表
 - 資料 33-5 日本, IAEA, 米国の「緊急事態活動レベル」の基本的事項の比較
 - 資料 33-6 IAEA GSG-2 反映資料
-
- 参考資料-1 緊急時対策指針検討会名簿
 - 参考資料-2 第 51 回原子力規格委員会議事録 (案) (平成 26 年 6 月 20 日)
 - 参考資料-3 第 27 回運転保守分科会議事録 (案) (平成 26 年 5 月 21 日)
 - 参考資料-4 原子力発電所の緊急時対策指針」改定案
(第 50 回原子力規格委員会提出資料, 第 51 回原子力規格委員会参考資料)

(1) 定足数確認等

副主査による代理出席者 6 名の承認後, 事務局より, 出席委員が代理出席者を含め, 委員総数 11 名中 9 名出席で会議招集の定足数 (委員総数の 2/3 の 8 名) を満たしているとの報告があった。(最終的には 10 名出席)

(2) 前回議事録の確認

事務局より, 資料 33-1 に基づき, 前回議事録案について説明があり, 案通り了承された。

(3) 原子力規格委員会等コメント対応について

副主査より, 資料 33-4 に基づき規格案の原子力規格委員会, 運転保守分科会で出されたコメントに対する対応案の説明があった。

対応案については一部修正し, 了承された。

(主な質疑, コメント)

- ・番号 1 に関して, 【解説 4.5】の現状の防災基本計画では通報票の送信が「直ちに」に

なっているが、従来の防災基本計画にならい 15 分以内を目指すことになっているが、規制はその解釈でいいのか。

→「直ちに」は「15 分以内」で了承されている。

- ・「直ちに」を「15 分以内」と解釈した経緯を解説に入れる必要はないか。
- ・【解説 4.7】の特定事象と緊急事態事象のしきい値（判断基準）が同じとなっているが、おかしいのではないか。

→しきい値は、敷地境界の放射性物質の放出（ $5\mu\text{Sv/h}$ ）の話であり、15 条通報（緊急事態）のしきい値は $500\mu\text{Sv/h}$ であったが、福島事故の反省から、炉心溶融（緊急時）が発生していても敷地境界が $5\mu\text{Sv/h}$ に達していなかったことから、10 条通報と合わせて 15 条通報（緊急事態事象）も $5\mu\text{Sv/h}$ となった。

- ・番号 4 について、対応の解説表-15(8/7)は解説表-15(5/8)の間違いでは。

→拝承、他にも誤植があるので皆でチェックしてほしい。

- ・番号 6 について、対応の 1 番目の「事故シナリオやベントまでの時間等について説明している」となっている、PWR ではベントは必要ないので特に説明していないので、「・・説明している例もある」に修正してほしい。

→拝承

- ・番号 7 について、「実際には・・・」は例だと思うので削除しては。

→拝承

- ・番号 8 について、ICS は選択肢の一つと考えるが如何か、意思決定がスピーディーに行われれば良いのではないか。

→ICS の概念は、一つの考え方として、参考として記載した旨を説明に加えることで検討したい。

- ・番号 16 については、「事故シナリオの説明を行っている」言い過ぎなので、「協議を行っている事業者もある」等の表現に修正する方向で検討する。

(3) 原子力発電所緊急時対策所設計指針の改定について

主査より、資料 33-2～3 に基づき前回規格委員会からの修正点を、資料 33-5～6 で IAEA 等の比較の説明があった。なお資料 33-5 は EAL 本文（資料 33-3）に添付することとなった。今回の意見及び最新の状況を反映し修正し、次回分科会（11 月 25 日）に上程することとなった。原子力規格委員会への上程については分科会の書面投票の状況で決定する。なお、上程案（新旧比較表含む）については、各社分担しチェックすることとなった。（11 月 10 日で集計する。）

（11 月 25 日分科会上程審議（書面審議）了解された。）

（主な質疑、コメント）

【資料 33-2（本文）関係】

- ・特になし

【資料 33-3（EAL）関係】

- ・NEI との比較表は作っていないのか。
→情報があまりないので作っていない。あまり大きな違いはないと思う。

(4) その他

- ・次回の検討会は分科会の状況で調整し決定することとした。

以上